東京新聞

偶感

不及生

▲男と女とを合せたものが夫婦、砂糖と白湯とを混ぜたものが砂糖湯と申す單純なる道理より類推すれば官吏と人民とを混同せしものは果して如何なる物体と相成り候やら小生は他塩世の物知りより拝聞いたし度候

▲ソレはさて今假りに官吏を陽とし人民を陰といたし候はんか此の兩性は遥かに早かれ合体いたすべき性質のものに候も我が日本に於ては維新前二千二百有餘年の長き間は勿論、維新后四十一年後の今日迄是れ其の形跡無之は聊か不可解の至りに候

▲不可解と申した所で別に夢巌、浅間に赴くには及ばず候も併し此の官民の不合体は文明の今日にて未だ其の形跡無之は聊か不可解の至りに候

▲尤も物知り者の解答を俟つ迄もなく、近世設立の運びにいたり候彼の東洋拓殖會社の組織は此の兩者を混同し、半官半民とやちに候へば兩者の意見も疎通し感情も相照し從つて事業の成績も宜く、行く〳〵は完全なる効果を收むべしとは今より想像に難かす候も併しソコが後になりぬれば浮世の習ひと諦め注意し渡くの必要有之候かと被存候

▲尤も他でも無之候が伊藤公を始め現内閣の統監府が居留民を見ること宛も蛇蝎の如く更らに居留民の意志意見などには耳を傾けざる誤料簡に候へば必ずや此兩者の仲睦まじき關係と豫想意外の好成績を擧げるを見なん及んで客氣と嫉妬とを起し意故惡き結氣質を擒ぎ出して可憐にも此の他きも他かれもせぬ若夫婦の間に餘計な干渉を試みはせずやと推察いたされ候

▲折柄明年は加藤肥後守清正の三百年祭に相當し其の祭典を熊本縣下に於て擧行すとのことに候へば余輩は其の際を機とし肥後の守をして地下より蘇らしめ愛暫時拓殖會社の門前に佇立せしむやういたされ度平に希望いたし居り候哉今……

●各地方の暴徒情況

△馬山管内　海州郡及長淵郡地方には辛景七の部下たりし殘徒徘徊せし又金津郡龍湖島附近には辛景七の部下たりし韓應順及超命西なる者賊魁となり十數名を率ひ徘徊し居るを以て目下搜索中又賊魁沈魯衡は部下約二百を率ひ康朔延平島附近に出没海賊となり居るもの〳〵如し

△右管内　に於ける農作物は發育良好にして農民は秋收の豊穫ならんことを豫想し歡喜の色を呈し居れり

△天安管内　忠州天安は稍々平穏なるも其他の地方は未だ平穏に歸せず就中青陽扶餘藍浦地方に於ては屢々賊に衝突することあり尚其情況を擧ぐれば左の如し

△忠州管内　概して平穏なるも延豊忠州提川淸安陰城郡地方には今尚少數の賊出没せり然れども賊害僅少なり又地に避難せしものは漸次歸社し家屋を燒盡せられたるものは新築に着手せしもの多し

△洪州管内　賊徒の出没頻繁にして甚だ不穏の狀態にあり藍浦、保寧郡地方に出没する賊は盡間は行商に變裝し數名つゝ村落及市場等を徘徊して狀況を探り夜間に至れば十名乃至七十名位の團体となり銃兵と稱して民財を掠奪しつゝあり目下搜索中又暴徒の別なく民財を掠奪し八月中旬我憲兵の爲めに約三十名殪れ殆んと全滅の非運に陷りたるも賊徒今尚出没住民不安の狀態なり又青陽郡地方は近來賊徒の出没頻繁なるのみならず多少の賊徒増加せしものと認ひ元來青陽附近は多數の金鑛坑夫居るを以て彼等は時機を見て賊徒に加はり横暴を恣にするを以て該坑夫等の賊群に投したるものある爲ならん又康津地方を徘徊する賊は常に少數のものなれば無害なれども他方より二三十名の賊侵入することあり

△公州管内　情況を地形上錦江の兩岸に分ちたる敵裏左の如し

右岸　清南道に屬する部分は平穏なる也北道に屬する部分は定山、青陽、鴻山、林川に至る線内にして扶餘、青陽、鴻山の郡界には最も賊の出没多し

△連山管内　一般平穏の狀態にありと雖も錦山、茂朱郡地方には尚二三十名の賊團巧みに出没し又高山、珍山、連山、懷德郡地方に於て少數の賊出没するも被害至つて少なし

△右管内　は一般農作物の發育良好にして人民は豊作を識期し至る處歓聲を漏し居れり

△金州管内　賊徒の出没稀なるも比較的不穏なりしば鎮安、任實、淳仁、茂長の各郡にして就中鎮安、任實地方に出没する賊徒は賊魁李鎬龍の部下三十名内外にして各自火縄銃を携帶せるもの〳〵如し其他金州金提地方も穏なり

（廿六）

川合柳葉

今日しも御室侯爵兄弟は家扶の大山豊春を召連れ、南彈寺畔の山川宗匠の宅に、俳句を催ふすべく越いた。

豫て俳設けたる事とて室内も清らかに、庭園なども木の葉一つ、塵一本も留めず、青々としたる苔は水を含み、南風は戯々と樹の間を潜つて、何様俳句などを詠むには相應しい家である。

御室侯爵は床柱を負よて正座に少し離れて弟雅敎は庭に對して家扶の大山豊春と先づ斯う云ふ順序に席が定つた。

兄爲雅は黒紹に藤巴の五ツ紋の單衣に、同じ羽織を着流し、浮模様のある白擂珍の帶を締め、女にしても見たい程の細い首を白紹の袗に包むで、悠々迫らざるの態度を示して居る。弟雅敎は白絣の上市の單衣に、同じ紋所の五ツ紋の紹の羽織を着て白紹の帶を緋ふて、兄の爲雅よりは驅幹も高く、却つて風采が見揚つて見れる家扶の大山は千筋の糸織の單衣に紹の三ツ紋の羽織を着て柳は必ず勝、春風そもるが、今日は実に御兎と云ふので春流しのまゝである。

御室侯爵は床柱を負よて正座に少し離れて弟雅敎は庭に對して家扶の大山豊春と先づ斯う云ふ順序に席が定つた。

兄爲雅は黒紹に藤巴の五ツ紋の單衣に、同じ羽織を着流し、浮模様のある白擂珍の帶を締め、女にしても見たい程の細い首を白紹の袗に包むで、悠々迫らざるの態度を示して居る。弟雅敎は白絣の上市の單衣に、同じ紋所の五ツ紋の紹の羽織を着て白紹の帶を緋ふて、兄の爲雅よりは驅幹も高く、却つて風采が見揚つて見れる家扶の大山は千筋の糸織の單衣に紹の三ツ紋の羽織を着て柳は必ず勝、春風そもるが、今日は実に御兎と云ふので春流しのまゝである。

「これは御前には初めて尊顔を得まする、私は山川孤舟にございます、今日はかてじございまする。」

「厄介だらけが俳句の指南が爲て貰ひたいと思つて、ハヤ〳〵。」

「奈何仕りまして、至つて未熟でございまして、俳諧抔など申す譯には參りませんが、及ばずながら御相手を仕りまするでございますから、御遠慮なく、御指南願ひたく、御願ひ申します。」

「恐れ入りまして、何様宜しく願ひ申します。」

「これは御前、御前、初めて尊顔を得まする、私は山川孤舟にございます、今日はかてじございまする。」

「厄介だらけが俳句の指南が爲て貰ひたいと思つて、ハヤ〳〵。」

「奈何仕りまして、至つて未熟でございまして、俳諧抔など申す譯には參りませんが、及ばずながら御相手を仕りまするでございます。」

「恐れ入りまして、何様宜しく願ひ申します。」

「御室侯爵は床柱を負よて正座に少し離れて弟雅敎は庭に對して家扶の大山豊春と先づ斯う云ふ順序に席が定つた。

兄爲雅は黒紹に藤巴の五ツ紋の單衣に、同じ羽織を着流し、浮模様のある白擂珍の帶を締め、女にしても見たい程の細い首を白紹の袗に包むで、悠々迫らざるの態度を示して居る。弟雅敎は白絣の上市の單衣に、同じ紋所の五ツ紋の紹の羽織を着て白紹の帶を緋ふて、兄の爲雅よりは驅幹も高く、却つて風采が見揚つて見れる家扶の大山は千筋の糸織の單衣に紹の三ツ紋の羽織を着て柳は必ず勝、春風そもるが、今日は実に御兎と云ふので春流しのまゝである。

「厄介だらけが俳句の指南が爲て貰ひたいと思つて、ハヤ〳〵。」

「奈何仕りまして、至つて未熟でございまして、俳諧抔など申す譯には參りませんが、及ばずながら御相手を仕りまするでございます。」

「恐れ入りまして、何様宜しく願ひ申します。」

「これは御前、御前、初めて尊顔を得まする、私は山川孤舟にございます、今日はかてじございまする。」

「厄介だらけが俳句の指南が爲て貰ひたいと思つて、ハヤ〳〵。」

「奈何仕りまして、至つて未熟でございまして、俳諧抔など申す譯には參りませんが、及ばずながら御相手を仕りまするでございます。」

「恐れ入りまして、何様宜しく願ひ申します。」

御室侯爵は床柱を負よて正座に少し離れて弟雅敎は庭に對して家扶の大山豊春と先づ斯う云ふ順序に席が定つた。

兄爲雅は黒紹に藤巴の五ツ紋の單衣に、同じ羽織を着流し、浮模様のある白擂珍の帶を締め、女にしても見たい程の細い首を白紹の袗に包むで、悠々迫らざるの態度を示して居る。弟雅敎は白絣の上市の單衣に、同じ紋所の五ツ紋の紹の羽織を着て白紹の帶を緋ふて、兄の爲雅よりは驅幹も高く、却つて風采が見揚つて見れる家扶の大山は千筋の糸織の單衣に紹の三ツ紋の羽織を着て柳は必ず勝、春風そもるが、今日は実に御兎と云ふので春流しのまゝである。

「厄介だらけが俳句の指南が爲て貰ひたいと思つて、ハヤ〳〵。」

「奈何仕りまして、至つて未熟でございまして、俳諧抔など申す譯には參りませんが、及ばずながら御相手を仕りまするでございます。」

「恐れ入りまして、何様宜しく願ひ申します。」

「これは御前、御前、初めて尊顔を得まする、私は山川孤舟にございます、今日はかてじございまする。」

「厄介だらけが俳句の指南が爲て貰ひたいと思つて、ハヤ〳〵。」

「奈何仕りまして、至つて未熟でございまして、俳諧抔など申す譯には參りませんが、及ばずながら御相手を仕りまするでございます。」

「恐れ入りまして、何様宜しく願ひ申します。」

御室侯爵は床柱を負よて正座に少し離れて弟雅敎は庭に對して家扶の大山豊春と先づ斯う云ふ順序に席が定つた。

兄爲雅は黒紹に藤巴の五ツ紋の單衣に、同じ羽織を着流し、浮模様のある白擂珍の帶を締め、女にしても見たい程の細い首を白紹の袗に包むで、悠々迫らざるの態度を示して居る。弟雅敎は白絣の上市の單衣に、同じ紋所の五ツ紋の紹の羽織を着て白紹の帶を緋ふて、兄の爲雅よりは驅幹も高く、却つて風采が見揚つて見れる家扶の大山は千筋の糸織の單衣に紹の三ツ紋の羽織を着て柳は必ず勝、春風そもるが、今日は実に御兎と云ふので春流しのまゝである。

「厄介だらけが俳句の指南が爲て貰ひたいと思つて、ハヤ〳〵。」

「奈何仕りまして、至つて未熟でございまして、俳諧抔など申す譯には參りませんが、及ばずながら御相手を仕りまするでございます。」

「恐れ入りまして、何様宜しく願ひ申します。」

後、其の室に退つて、恭しく一礼して、其まゝ彼方の室に退り去つた其の機巧を含むだ姿を、先刻の程から目も離さず、慌惚として眺めて居るは、爲雅侯であつた、イヤ爲雅侯ばかりではない、宇治の雅敎も、家扶の大山も均しく魂線を奪れた、しかし爲雅侯の慌惚となつたは大に意味ありげであつたが、大山は全くれ君の美しくしてしかも良家の令嬢たる態度を見て、其の何者なるかを識別せんがためで、又雅敎は山川は獨身でかゝる美人の居るべき理はない、奈何して何所から連れて來たかと、それを想像せんがため注目を拂つたのである。

廣告

轉宅　大和町三丁目　新明通新道側　小川靖雄

たゞん卸小賣　京城米倉町七四　荒田たゞん工場

歐米最新式寫眞場　新築落成廣告　今回新築寫眞場へ移轉仕り來る十月一日より新式撮影方相始め申候に付倍舊の御愛顧奉願上候尚移轉御披露として十月一日より十月三十一日迄定價の一二割引　京城南大門通り二丁目（第一銀行新築地前）　岩田寫眞館　長電話五十三番

和洋　暖爐販賣　並に附屬品一式　煙突取付請負　京城本町五丁目一番戸　馬木勇吉　電話四七一番

亀屋の部　西洋酒食料品　電話八二一七番

本月ヨリ開業　眼科　梅毒　患者ノ診療ニ從事ス　京城旭町二丁目名古屋城上　眼科梅毒専門　海洋醫館

開業廣告

東京生蕎麥開業廣告　東京生　並に天麩羅、蒲燒ほねぬきどぜう御料理仕出し　南山町三丁目　天金

美術書畫　襖、壁、天井張　京城南町一丁目　桂萬吉

人事部

物件部

貸家

廣告

東京新聞

十三師團の功勞

帝國の保護國係を鮮明にしたる昨夏に於ける日韓第二協約の締結は個人の功に歸すべ[illegible]

[illegible]

●漢城便り

▲韓皇水原行の事も彌實行せられ候由結構に被存候聞く所に因れば尊山の陵は大院君筋にとり最も大切なるものゝ由に候へば盛大なる儀式を以て發祈せらるゝは單り現皇のみならず太皇帝の希望ならんとも被存候

▲伊藤統監は如既報内地に於ては米國艦隊歡迎委員長に擬せられ居候が當地に於ては正に行はれんとする韓國尊山陵參詣行列委員長に推撰せられ居るとの事は御座候統監公にして大禮服に新調し幸ひにも無事に[illegible]

▲韓皇水原行幸期日

韓國拓殖會社委員一行は十日二日歸途に就く（以上廿七日發）

●韓國委員の發期

●水原行幸期日

韓皇水原行幸に就ては屢々記せし如くなるが行幸の期日は愈よ來る十月二日午前南大門驛發の宮中列車にて行幸の事に確定し即日御還幸の筈なり供奉員は各大臣以下二百名外に儀仗騎兵一小隊なりと又た各官庭の乘用として人力車三百臺同地に送る筈なりと

●股野博物館長謁見の模樣

帝室博物館長股野琢及び美術部長今泉雄作の兩氏は曾國副統監の帶同にて廿六日午前[illegible]

●宮列車發着時間

十月二日韓皇が水原行幸のことは別項の如くなるが宮廷列車發着時間は左の如し

南大門停車場御發　午前七時三十分
大皇橋臨時停車場御着　午前八時四十五分
御陵御展鶴三時間
大皇橋臨時停車場御發　午後二時三十分
水原停車場御着　午後二時四十三分
西湖臨時停車場御着　午後二分間
西湖臨時停車場御發　午後四時四十五分
途中各停車場に停車無し
南大門停車場御着　午後五時五十分

●民團議員豫選會

●學校聯合運動會

●仁川會議所總會

●熊本縣人懇親會

●日本巡査採用試驗

●水原行幸に臨時停車場

●列車發着時間

●補助憲兵募集完結

●憲兵下士の赴任

●李戰克の招宴

●明石少將歸任

●李參相の消息

●外人の統監府訪問

●中島憲兵少佐の巡視

●賞狀の下附

●近事片々

●統監の大磯行

●木内次官の歸任期

●韓國委員の招待

●第六師團滯韓期

●統監府豫算

●拓殖總裁任命期

●拓殖役員の選定難

●採木公司

●土地寄附者への木盃

●警衛巡査派遣

●仁川の藥價改正

●貴族院議員の選擧

●民團議員豫選會

●學校聯合運動會

●仁川會議所總會

●日本巡査採用試驗

●熊本縣人懇親會

●賞狀の下附

●近事片々

舊友

（五）青楓作

「あの貴女の親身主義は、自信の結果じゃないと有仰るの、夫じゃ如何な理由、猶且失敗からなの」

「まアそうですわ」

「嚴然首ひ放つた藤枝の顔には、時ならぬ紅葉を散らすのであつた。

「藤枝さんそうして其の懇せる人とは、一体何誰」

藤枝は、漸崎、モヂ〳〵して居たが

「細田正と有仰る方で、その當時には未だ早稲田の文科生でしたわ」

雪子は、始めて細田の言語の事實なるを知つたのである。

●仁川海岸の投身

投身者は綿木仙吉氏の姉

原因は云ふに云れぬ事情

去月廿四日の夕方、木仙吉の妻が何者か殺害せられ、小杉[illegible]生の小杉[illegible]は一昨日未明寺町二丁目雜貨店の自宅を出て我關埠頭に至り人目なきを幸ひ身を海中に跳らして浮きつ沈みつ苦しみ居りしが折柄滿潮時なりしかば彼の爲めに打寄せられ海岸離れず居りし所を通行せる吉貴組園平船業木柳吉に發見せられ救ひ上げられたるが其筋の取調べによれば家計困難の爲めに覺悟の自殺を企てたるものと泣く〳〵申立てたり然れども眞の事情といふは暇りにも弟の仙吉が貿易商を營みて第一流の店舗を有し實妹が仙吉の妻女となり又實娘が綿木の養女となり居るにして何も食ふに困る譯なきは明にして本人が世を嘉なみ身を案つるに至りたる內情こそ實に疑問といふべし一家の內情につき兎角の取沙汰されつゝある綿木一家より遂に此慘劇を演ずるに至りしこそ知る人ぞ知ることは精探の上報導する所なるべし

●仁川の暗黑　一昨夜宵未た淺き八時頃仁川市中は忽然として暗黑世界と化し有ゆる作業は停止され人は闇より闇に駆けまわり、ランプの闕達燈燭の注文をなすものあるやら大騒をなしたるが原因といふは電氣會社の機關に損所を生し電流が通ぜぬようなりたる爲めにして此れが爲めに市中に受けたる損害は莫大なるものなりといふ

●歸り討ちに逢ふ　南山町一丁目某料理店の雇人龍目國吉（三十）は同家の雇人なる金樓七（三十）がツイ近頃同町百二十七番地雜貨商奈良田定次郎なるものに毆打され爲めに金は口惜し涙に攙き暮れて仕事さへ碌に手につかざる有樣を氣の毒に思ひナニ心配するな俺が仇を打つてやるからと力味返し一昨夕奈良田方に出掛け同人に向つて喧嘩を吹き掛けたりしに却つてアベコベに奈良田に毆打され無念の涙を絞りつゝコソ〳〵家へ歸り來たりと

●横着なる人夫　本月廿六日午後六時過ぎ旭町宮內府官舍用右尾運搬人壽町二丁目五番戸中尾方大分縣人植山富三（三）なる者左右五千枚の物件を以て鳥居宮より搬出し其の全部を搬出し終り更に五百餘枚を搬出せんとしたるを門衛巡査趙源瞞着して搬出せんとしたるを門衛巡査趙源主に於て發見し此れを差止めたるに植山は白銅貨四枚を趙巡査に贈りて搬出を遂げんとし却て同巡査に問責引致せられ皇宮警察に於て取調の上門鑑を沒收され今後の宮闕出入を禁止せられたり

●清韓人の喧嘩　本月廿六日午後五時頃パコタ公園番人清國人韓德隆なる者韓人車夫金在淳と車賃十錢に就きて口論じ居合せたる清國人孫結諾なる者此れに口を出し遂に車夫と喧嘩を初め互に傷を受け車夫は說諭によりて放たれ清人孫は清國巡警署巡警に引渡さる

●支那人の韓人拘束　中部於義宮內統戶不詳趙東毛は去月來水[illegible]理店東來居方にて飲んで喰食ひの揚積り積つて卅圓餘となり二進も三進も出來ず妻を見せざりしが廿六日後一時頃來居に見附けられ來居方の聞き一室に拘束し居らるゝを警察署へ訴出たる者あり前記二名の者は其まゝ引致されて取調を受けたるが結局說諭の上放還さる

●石油罐の破裂　西部盤石坊亭子洞精米所李偉有の雇人朱世均（十）が廿六日午後十一時自宅据付けの機關釜に火を起さんとて石油罐を釜の口に持てゆくや機關釜の火氣之れに移り石油罐は爲めに爆然たる爆聲共に破裂し火の付きたる石油四方に飛散し之が爲め世均は全身に石油を浴び面部腹部四肢に火傷を負ひ一時氣絕したるも蘇生したるが生命には別條なしと

●正面ヨボ車夫　一昨日訓練院の運動會の催しありしとき一人の日本婦人が表の所で客待をなし居りし韓人の車夫に向ひ兎も角も此の荷物を車に積み呉れよと白毛布項箱風呂敷包などを托し直ちに運動會場に入りしかば車夫は心得で右の荷物を車に載せ客い出で來るを待ち受け居りしに何時迄經てども先きの客は來らず兎や角するうち中に運動會も濟みたれば今は已ひなく件の荷物をば警察署に引き行き其の旨屆け出でたりとは近頃正直のヨボ車夫と云ふべし

●娘こ馬の脚の駈落ち　仁川敷島桃山町山下トメの長女カツ（十九）は丸ぼちやの色のクッキリと白い所丈は當世風なれど肝心な鼻の恰好と口元の工合が變手古なので此れ迄も心から相手にする男なかりしが曲かりッ木にはクチリッ木の譬へ先達て仁川に於て奥行せし白川一座の座員にて常に嬢や役と下女役のみを勤め居る秋岡とかい ふ下廻り役者と出來合ひ互に手を取り て京城に來り大和町一丁目大黑屋に潛み居る斯ういなつたら何うしやうなる此の先きの身の振り方を思案中カツの實母よりの願ひ出でにより一昨日警官に手を取り押へられたり

●正直ヨボ車夫　一昨日午後十二時頃一人の韓人何の挨拶もなく入り來り亂暴を働くに家內のものは此旨警察に訴へ出たれば巡査出張し之を取押へ警察に引致し取調べしに此者は五壯洞居住の鄭永基（三十）と云ふ酔漢なりしかば酔の醒めるまで留置き放還したりと云ふ

●有り勝ちの喧嘩　園井洞統戶不詳吳大善（十）宅に於て一昨日午後一時頃西部銅染洞四十七統五戶李鎭裕（三十）と姉（三十）とが喧嘩し居る旨訴出でんとの李姓女の通報により警察に走る途中にて巡査に出會せ斯くと訴へたるに巡査は直樣出張して說諭したれば事なく濟みたり

●妓生娼妓取締規則發布　警視廳は昨日の官報を以て京城內に於ける妓生及び娼妓營業に關する取締規則を發布し妓生娼妓と警視廳が指定したる時期に組合を設くべしと命令したり

●ハハ飲み　廣島縣生長野末吉（三）は一昨日午後二時頃南大門通りの小料理屋花の屋にて大枚八十錢餘の飲食を爲せしはよも結局復中無一物なるより此奴不都合な奴と其の筋へ突き出されたり

●小便料二十錢　一昨日長谷川町街路に小便中を巡査に認められ二十錢の科料に處せられたるは輸國縣生れ旭町二丁目白川取組事務所雇人門司新三郎と云ふ男

●石見一座乘込　新派俳優石見小次郎一座は過日仁川に於て好評を博し居りしが今回京城座に乘込み本日より開場するとゝなりたり因みに京城座に於ては過日中村長右衛門一座にて歌舞伎劇を開場せし際觀客の取扱に就て慣用を損せしことありしが今回は之れが回復の爲め棧敷平場とも木戸四十錢均一とし觀劇家の取扱等大に改善すると云へば石見一座と共に嘸かし好人氣を得べし

●本町座の開場　本町座にては白川一座にて開場する筈なりしも同人が日本に歸し爲め他の俳優にて開場することゝなり來月一日より開演すると云ふ

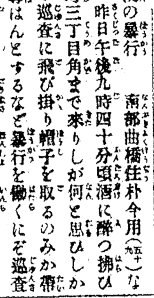
●六ッ灸の開業　近來は灸の効能に就ても改善に醫術界の研究を試むることゝなりたるが本町七丁目韓寺の附近に開業せる六ッ灸治療所には諸病を灸治するに大抵一二週間にて根治すとのことなり

●鐵道の荷車を挽く　西部倉洞二十一統一戶趙致雲（三）が一昨日午後四時荷車を挽き行くと三井物產會社支店屋逸見國市なるもの認めの其荷車は俺の會社の荷車なれば此方へ渡せとイヤ渡さぬと爭ひ到頭警察の厄介となり双方說諭の上引下ろし車は慥かに三井の所有に係る由にして如何にして趙が手に入つたるかは詳かならずと

●巡査の盜難　廿六日午後十時頃十七番地巡査原田小七の留守宅に泥棒忍び入り鍋一個皿一個火鉢一個桶一個外に二三點を持ち去る

●盜んだ木材を宿賃　西部生祠堂丁釜高玄根（八）は去る廿六日午後三時頃南大門通り等女學校建築場內留置の材木若干本を盜取りし之を宿賃の抵當として南門內生祠堂丁釜年方七下宿し居る砂を午後五時頃

●酔漢の暴行　南部曲橋住朴今用（五十）なる者一昨日午後九時四十分頃酒に酔つ拂ひ明治町三丁目角まで來りしが何と思ひしか同所の巡査に飛び掛り帽子を取るの外に剣を奪はんとするなど暴行を働くにを巡査も已を得ずして之を取押へ本署に引致せしも盜み亂暴するを以て人力車に乘せ本署に引致したりと云ふ



●酔ドレヨボ　本洞四十九統二戶李龍孫方に一昨日午後十二時頃一人の韓人何の挨拶もなく入り來り亂暴を働くに家內のものは此旨警察に訴へ出たれば巡査出張し之を取押へ警察に引致し取調べしに此者は五壯洞居住の鄭永基（三十）と云ふ酔漢なりしかば酔の醒めるまで留置き放還したりと云ふ

●有り勝ちの喧嘩　園井洞統戶不詳吳大善（十）宅に於て一昨日午後一時頃西部銅染洞四十七統五戶李鎭裕（三十）と姉（三十）とが喧嘩し居る旨訴出でんとの李姓女の通報により警察に走る途中にて巡査に出會せ斯くと訴へたるに巡査は直樣出張して說諭したれば事なく濟みたり

●妓生娼妓取締規則發布　警視廳は昨日の官報を以て京城內に於ける妓生及び娼妓營業に關する取締規則を發布し妓生娼妓と警視廳が指定したる時期に組合を設くべしと命令したり

●ハハ飲み　廣島縣生長野末吉（三）は一昨日午後二時頃南大門通りの小料理屋花の屋にて大枚八十錢餘の飲食を爲せしはよも結局復中無一物なるより此奴不都合な奴と其の筋へ突き出されたり

●小便料二十錢　一昨日長谷川町街路に小便中を巡査に認められ二十錢の科料に處せられたるは輸國縣生れ旭町二丁目白川取組事務所雇人門司新三郎と云ふ男

●石見一座乘込　新派俳優石見小次郎一座は過日仁川に於て好評を博し居りしが今回京城座に乘込み本日より開場するとゝなりたり因みに京城座に於ては過日中村長右衛門一座にて歌舞伎劇を開場せし際觀客の取扱に就て慣用を損せしことありしが今回は之れが回復の爲め棧敷平場とも木戸四十錢均一とし觀劇家の取扱等大に改善すると云へば石見一座と共に嘸かし好人氣を得べし

●本町座の開場　本町座にては白川一座にて開場する筈なりしも同人が日本に歸し爲め他の俳優にて開場することゝなり來月一日より開演すると云ふ

●六ッ灸の開業　近來は灸の効能に就ても改善に醫術界の研究を試むることゝなりたるが本町七丁目韓寺の附近に開業せる六ッ灸治療所には諸病を灸治するに大抵一二週間にて根治すとのことなり

同可娯欄（五）

●都々逸　魚友痴史

▲大韓日報タノシミ欄の賑盛

婀娜な姐樣優姿の兄粹と通との大一座

▲京城新聞無料紹介欄の便宜

出雲の神より猶有難い無料で嬉い緣結

●天氣豫報（自廿八日午後六時至廿九日午後六時）

晴後曇り　廿八日午前六時各地氣象概況一般に風力弱く中部は晴天なれども他は概ね曇天にして龍岩浦に降雨せり

廣告

第四回廣告

京城居留民團立各學校幼稚園聯合會秋季運動會へ左記の通り金品寄附ありたり

明治四十一年九月廿八日

京城居留民團民長　熊谷賴太郎

金二圓　緞記帳十參冊　鶴護士（岩田仙助）

金二圓　筆入二十五個

金二圓　鉛筆十二打

金二圓　海浦篤彌

金二圓　波德重穆郎

金二圓　鈴木

金二圓　藤倉和三郎

金二圓　赤木吉三郎

金五圓　不破正文

金五圓　藤原兼重

金二圓　八木親豊

金二圓　吉田格之進

金二圓　大塚源三郎

金二圓　池島誠

金二圓　中島也藏

金二圓　大吉邦專

金二圓　高宅意吉

金二圓　三浦商店

金二圓　古美代市

金二圓　渡透水郎衡

金二圓　（同）富田清初

金二圓　阿部定作

金二圓　吉田受子

金二圓　神田嘉兵

金二圓　秋本嘉目

金二圓　加藤吉

金二圓　川西商

金二圓　阿部留吉

金二圓　秋本嘉目

金二圓

京城座

新俳優

毎日午後五時開幕

木戸棧敷とも上下なし

金四拾錢外に一文いらず

石見小二郎一派

石見小二郎一派

京城座

されば四方の御客樣方は寸時も早く上場所を占めらるゝが御德です

但し外に特別棧敷設のけあり

石見小一郎一派

茶

開春園茶舗

薄茶・道具　御小賣

紅茶コーヒー

宇治銘茶

京城旭町二丁目理事廳橫

弊店滿洲各位の御愛顧に依り日々繁榮に趨き候段衆人の御[illegible]候就ては一層商品精撰廉價販賣を目とし御奉顧の萬一にひん事を期す御用の節は御通知次第持參仕り候尚他地方よりの御注文價格貳圓以上は小包郵便等を以て發送仕る弊店特撰にして御德用品と被考候間他品一同御試用あらん事希望仕り候敬白

塚本甘泉堂

京城南大門外吉野町

軍隊用

ビスケット

寶來豆

萬歲豆

八ツ橋

開店御披露

牛肉

はたのや事

石田支店

壽町三丁目

石は精々廉價にて品質を精選し販賣仕候間多少に不拘御下報次第足速配達可致御用命の程希奉上候

取次電話三〇九番

藥局生（名）募集

女子

京城長谷川町

蘇生病院

純良牛乳

消毒安全

事務員至急募集

本館業務擴張の爲各地に男女の事務員を置き事務員は自宅に於て家業の餘暇本館依託の事務を執るものとす高等小學卒業程度以上の志願者は履歷書に郵券三錢相添へ至急可申込讀書の結果採否直に祥細通知し成績に依り月俸十六圓以上四十五圓以下給す▲本館創立明治二十一年四月滋賀縣淺井郡南濱第三九番屋敷

大日本濟民舘

金五圓　巨體部忠博士ノートブック二百冊

金五圓　實丸十個

金一圓五十錢　土佐紙合資會社

金一圓　京城生盛藥館

金一圓　小林曾蘭荒助閣下

金三十圓　宋秉畯閣下

金三十圓　松井茂趙重應閣下

金三十圓　長谷川好道閣下

金三十圓　山口かめ子

以上

購買廣告

一、石炭貳百九拾噸

報熱電之事

隆熙二年九月廿九日

內

讓受人

松永忠

電話開通三二九番

諸官衙御用達

建築受負

中山權三

京城大和町二丁

測量手

梅崎政

久保田

岡田事務

取次電話第六三

右之者平壤合意之上解雇致候に付爾後一切關係無之候

本町一丁目十六番戶民團役所

右之者平壤合意之上解雇致候に付爾後一切關係無之候

本町一丁目十六番戶民團役所

雇人

講談

西山茶話

衣川

（八）　桃川燕光

「ヤ伯書」伯「ハッ」西「歩いて居る時さて大切の枕ちやが、那う馬へ乗ると用い、其方迷惑でもそを持つて行つて呉れるのは、ホ、御覧の笠に紮の枕をれ出しになる、仕方ないから伯書が其れを受取つて馬へ附け、御覧なすつた西山公　西「コレ〳〵」とつて乗りこんで来る。伯書が「イヤ穏々持つて参つて呉れるのは、ホ、た御苦勞ぢやな……」人を馬鹿にして、御家来方も水戸の御隠居様と聞いた厚等と感まして「エ、下に一〳〵」とつて乗りこんで来る。伯書が「イヤ穏々持つて参つて呉れるのは、ホ、た御苦勞ぢやな……」人を馬鹿にして、御家来方も水戸の御隠居様と聞いた厚等と感まして「エ、下に一〳〵」とつて乗りこんで来る。

甲「何だね那ア御領主が歩いて居さ本るに、遠に見たことのねへ槍の長い景品呈上可仕尤も此際御調製靴は弊店獨特の技能を以て堅牢無比なり邸に乗つてござらつしやる、那ア何高尚優美に製作可仕候就ては足數に限り有之候得ば此際至急御申込被下度尚御一報次第遠近に不拘店員罷出御用命相承り可申候但し賣出靴足數は二百足を限とし定數滿了と同時に締切可申候

景品格左に

一壹等　價格金五拾圓　三越呉服券
一貳等　價格金參拾圓　亀屋商品券
一參等　價格金貳拾圓　辻屋商品券
一四等　價格金十圓　四ヶ所商店商品券
一五等　價格金十圓　末永呉服券
一六等　價格金十圓　總屋支店商品券
一七等　價格金十圓　丸京呉服券
一八等　價格金五圓　播磨屋商品券
一九等　價格金五圓　青木堂商品券
一十等　價格金五圓　梅垣雜貨店商品券
一十一等より貳百等まで壹本も空籤なし

抽籤は來る十一月三日天長節を卜し各新聞社員立會の上午前より弊店に於てて執行す

四十一年九月

日韓諸官衙御用達　京城本町貳丁目　萩原靴商店　電話番號三一八

開店六週年紀念
景品附大賣出し

醫科業科圖

石版銅版
木版彫刻
ライタイプ版
寫眞版
繪葉書
繪本裝幀

活版活字鑄造

日韓印刷株式會社
本社　京城明治町三丁目（電話三二三番）
東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十（電話新橋三九六二番）

今特日韓印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ品ニ新商標ヲ使用仕候間ノ繼續御愛顧ヲ請ハル

謹啓愛顧之益々幸福上候也

寿町一丁目

水道良水
毎日午後二時より開湯
專用　壽湯

電話開通
五九二番

高岡洋服店
京城明治町壹丁目

朝鮮唯一の土産夏季滋養

賜東宮殿下御買上品
清國領事館御買上品
韓國京城博覽會優等受領

滋養強壯人參飴

世界第一等の滋養品
牛乳鶏卵に優る効歌信
元祖發賣元　京城本町二丁目　井口願生堂藥房

本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるゝ純良なる朝鮮人參を以て精製したるものにて朝鮮唯一の御土産品なり本品は殊に夏季の强壯劑として煩る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ

◎持約販賣は京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎮南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄御買求を乞

京城本町二丁目（電話一九九番）井口願生堂藥房
京城大販賣店　亀屋（本支）青木堂

薬業
日韓印刷株式會社
石版銅版
木版彫刻
ライタイプ版
寫眞版
繪葉書
繪本裝幀

活版活字鑄造

日韓印刷株式會社
本社　京城明治町三丁目（電話三二三番）
東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十（電話新橋三九六二番）

今特日韓印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ品ニ新商標ヲ使用仕候間ノ繼續御愛顧ヲ請ハル

謹啓愛顧之益々幸福上候也

御進物用に適し腐敗の憂なし
梅堂
あまから鹽煎餅

特約販賣　自製
漬物味噌醤油
京城本町五丁目
大上商店
（電話二一五一番）
和洋酒、精酢、穀物麺類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール特約販賣

今回京城水道通水致候に付本日より弊湯は同水道の良水を用ゆるとに致候は從前の通に候間相變らず陸續御入浴御引立の程願上候

京城旭町一丁目
水道良水
專用日の出湯
電話七四八番

大韓國大審院御編纂
豫約延期廣告
日韓文封照
新法律
裁判所構成法
刑法
民刑訴訟規則
民事訴訟規則
全一冊美本　紙數凡四百頁
金壹圓　並製　定價　金八十五錢
金十錢　郵稅　金八錢

上製（總クロース金文字入）定價　郵稅

右豫約發賣以來各地方の御希望者豫想外の多數に達し且遠方未着の分も不尠旁々豫定の期日（十月五日）迄には製本出來致兼候ことに相成候に就ては萬不得止該延期すると同時に豫約期限を十月二十日迄とに更正致候間此段不悪御諒知被成下度尚未た豫約御申込なき方は左の豫約方法に據り此際弊社へ御申込あらんことを伏て奉願候

豫約方法

一豫約者は上製並製共定價の一割引
上製金十錢（郵稅共八十四錢五厘）並製七十六錢五厘（郵稅共七十四錢五厘）
一豫約者は申込と同時に毎冊上製五十錢並製四十錢の割を以て
御拂込被下度但送本を要する方は郵稅共全額一時に御拂込被下度候
一豫約申込期限　十月五日限
一豫約申込所　明治町三丁目　日韓印刷株式會社
一出來期限　十月二十日

メリヤス足袋
卸小賣
船來雜貨商
中塚支店
京城本町六丁目

内科
外科
婦人科
小兒科
眼科
吉田病院
南山町三丁目

入院隨意

廣告

法學士
訴訟代理人
事務所
小川勝平
京城本町一丁目（電話四壹番）
大邱東外門

長崎流
しるこ
茶碗むし
むしすし
兼て手狹の處今回客室增築致し一層大勉强可仕候間曩々敷御光來の程奉願上候
京城南山町二丁目（南山湯上隣）
梅村堂

御下宿
古河屋
京城大和町一丁目
軍司令部通韓洋亭前
眺望宜敷二階アリ確實ト叮嚀ト勉强トハ本店ノ特色ニ御座候

太物洋反綿類蒲團
秋山商店
京城郵便局前
電話一七六番

民刑訴訟鑑定
架記漢城府手續
京城本町二丁目
民役所前
登廳屆代書
諸地鑛山測量
岡田事務所

入院隨意
京城壽町三丁目（元阪井病院）
院長　陸軍三等軍醫正　高井寛
高井醫

日本郵船株式會社
流船出帆廣告
仁川海岸通　郡回漕
貨物及船客取扱店
京城南大門通　巴商
電話三〇

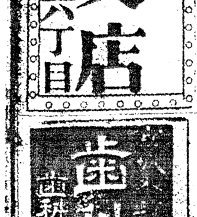
●釜山長崎門司神戸行
●大連、大沽、牛莊行
●釜山出帆、元山津、浦鹽行
●立神
●大連、大沽、牛莊行
●新潟丸

十月五日正午　大連

御注意
御乘船ノ際ハ必ず本船ノ送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ノ出帆ノ約五十分前ニ船着所ニ

●新聞料
●廣告料
●發行人　高木久
●發行所

内科
外科
婦人科
入院隨意
植村病院
京城南山町二丁目
（電話三三〇）

辯護士
大久保雅彦
京城旭町二丁目
（電話八三九）

六ッ灸廣告
六ッ灸の特効　赤痢、チョウチブス、コレラ其外下痢一切立處に治すること如神
六ッ灸の特長　大熱を冷まし風引及マラリヤを速治すること他に並びなし
六ッ灸の特色　何なる重患と雖も全治せざるなく又再發傳染のうれいなし
此治療料は全快の上申受く
胃病。腦病。腳氣。神經痛。リヨウマチス。トラホーム。其他眼病一切血の道。子宮。齒痛。癲癇。癩病腫物其他諸病根切
本町七丁目北入花園町
六ッ灸治療所
青木直太郎